

特定本邦航空運送事業者(※)に関する航空輸送サービスに係る情報公開(平成19年1～3月)のポイント

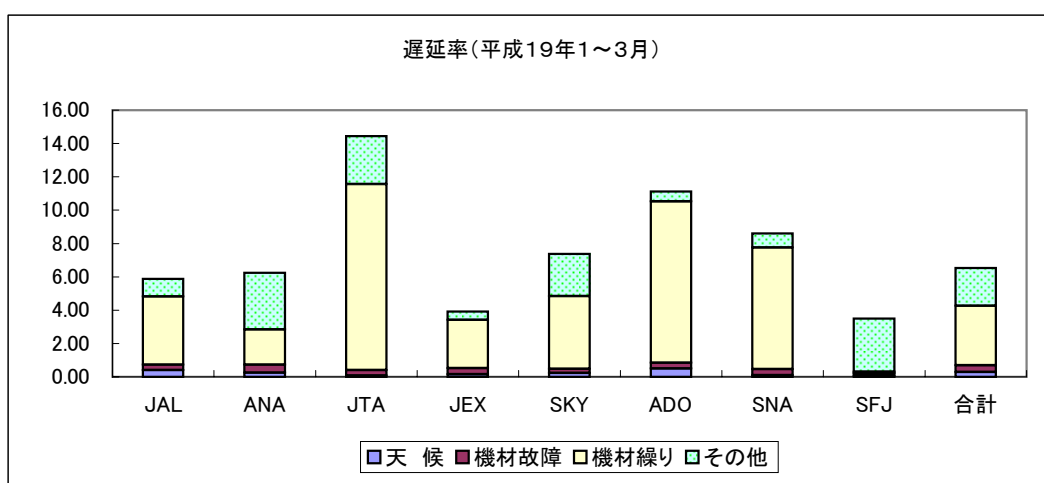
※日本航空(日本航空インターナショナル及びジェイエアを含む)、全日本空輸(エア・ニッポン、エア・ネクスト、エア・ニッポンネットワーク及びエア・セントラルを含む)、日本トランスオーシャン航空、ジャルエクスプレス、スカイマーク、北海道国際航空、スカイネットアジア航空及びスターフライヤー

1. 輸送サービスの比較等に関する情報

(1) 遅延率(平成19年1～3月)

当期実績	前年同期実績	前年同期との比較
6. 53%	8. 65%	2. 12ポイント減少

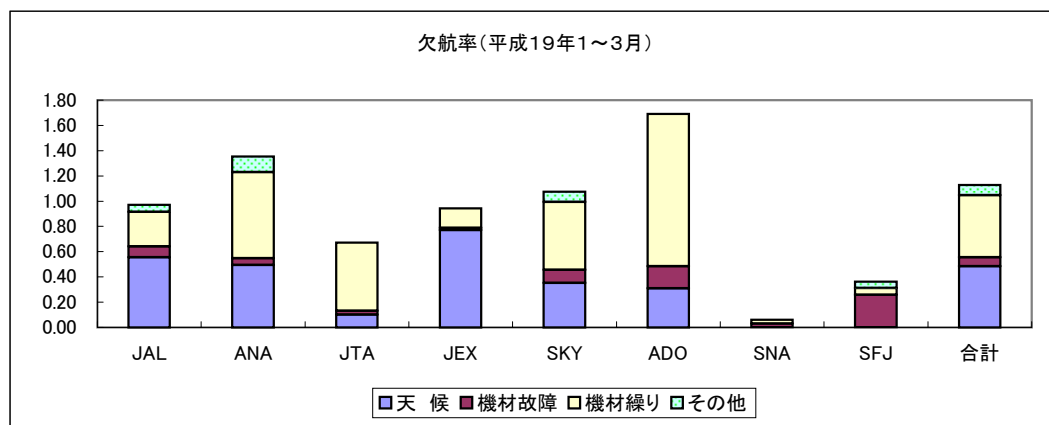
備考)「遅延便」とは、出発予定時刻より15分を超えて出発した便をいう。



※対象となっている路線が各航空会社によって異なっており、路線毎・季節毎に欠航・遅延の特性が異なることから、単純な比較には適さない。(夏期は沖縄路線等で台風の影響を受けやすく、冬季は北国等で積雪の影響を受けやすいなど。)

(2) 欠航率(平成19年1～3月)

当期実績	前年同期実績	前年同期との比較
1. 13%	1. 60%	0. 47ポイント減少



※対象となっている路線が各航空会社によって異なっており、路線毎・季節毎に欠航・遅延の特性が異なることから、単純な比較には適さない。(夏期は沖縄路線等で台風の影響を受けやすく、冬季は北国等で積雪の影響を受けやすいなど。)

◎『トピックス』新規航空会社の遅延率及び欠航率の状況

【遅延率】

	当期実績	前年同期実績	前年同期との比較
SKY	7.38%	11.35%	3.97%減
ADO	11.13%	18.26%	7.13%減
SNA	8.6%	7.33%	1.27%増
SFJ	3.49%	21.86%	18.37%減

- ・新規航空会社全体的に、遅延率の改善の傾向が見られる。
- ・SFJは昨年3月に参入し、当期で就航後1年を迎える航空会社であるが、就航当初と当期の実績を比較すると遅延率の大幅な改善が見られる。

【欠航率】

	当期実績	前年同期実績	前年同期との比較
SKY	1.08%	1.41%	0.33%減
ADO	1.69%	3.34%	1.65%減
SNA	0.06%	2.60%	2.54%減
SFJ	0.36%	0.60%	0.24%減

- ・新規航空会社全社の欠航率が改善している。
- ・SNAについては当期中の欠航率が0.06%と昨年の2.60%から大幅に改善し、新規航空会社のみならず、特定本邦航空運送事業者中もっとも欠航率が低い結果となっている。

2. 運賃関連情報

(1) 輸送実績(平成19年1月～3月)

項目	当期実績	前年同期実績	前年同期との比較
平均搭乗区間距離	902km	899km	0.3%増
輸送人員	2266万2195人	2205万9480人	2.7%増
輸送人キロ	204億4633万人キロ	198億2234万人キロ	3.1%増
旅客収入	3379億73百万円	3223億48百万円	4.8%増
輸送人員あたり 旅客収入	14.9千円	14.6千円	2.1%増
輸送人キロあたり 旅客収入	16.5円	16.3円	1.2%増

(2)路線別データ(平成19年1月～3月)

①旅客数

上位5路線は次のとおり。

1位	東京＝札幌	236万1385人
2位	東京＝福岡	199万6800人
3位	東京＝大阪	156万2104人
4位	東京＝那覇	131万6056人
5位	東京＝鹿児島	55万7636人
全 路 線		2261万6912人

②利用率

上位5路線は次のとおり。

1位	広島＝那覇	85.1%
2位	大阪＝札幌	84.7%
3位	東京＝石垣	83.6%
4位	那覇＝岡山	82.3%
5位	東京＝宮古	79.3%
全 路 線		62.5%

下位5路線は次のとおり。

1位	札幌＝中標津	28.7%
2位	中部＝福島	29.1%
3位	名古屋＝北九州	30.7%
4位	新潟＝神戸	31.2%
5位	関西＝高知	31.7%
全 路 線		62.5%